

四谷大塚	4年						
	算数						
学習内容	4回 和と差の問題 5回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第1回～第4回） 6回 小数と単位						
家庭学習ポイント	3月の4年生は「和と差の問題」「総合（予習シリーズ4年㊤ 第1回～第4回）」「小数と単位」を学びます。2月同様、テキストは全部やろうとすると量が多過ぎてこなせない可能性があります。例題・類題ができるようになったら基本問題を、基本問題ができるようになったら演習問題集の反復問題も、それができるようになったら練習問題へと、一段一段理解を確認しながら進めていきましょう。特に4年生から通塾を始めたお子さんは、単元の基本をきちんと押さえることに重点を置くことを心がけるとよいと思います。また「手を動かすこと」を重視してください。具体的には、計算では「筆算や途中式をきちんと書くこと」、4回で扱う和差算では「線分図を書いて、与えられた条件を『見える化』して考えること」などです。「頭の中で考えていきなり答えを書く」といった勉強にならないようにしたいですね。3月下旬より始まる春期講習会では、決まりに着目する問題・平面図形・線分図の利用・数と計算などについて学習します。						
課題の把握と解決策	チェック1	和差算では線分図を書いて考えることができますか？					チェック
	解決策	しっかり手を動かす習慣を、この時期につけておきたいですね					☐
	チェック2	線分図を書くときの「ポイント」が理解できていますか？					チェック
	解決策	まずは「左端を揃える」ことからですね					☐
	チェック3	小数の計算では桁がずれないように注意していますか？					チェック
	解決策	たし算、引き算では小数点がずれて間違ってしまうよう注意しましょう					☐
	チェック4	長さの単位を正しく理解していますか？					チェック
	解決策	身近な単位はcmですが「kmはmの1000倍、mmはmの1/1000倍」のどこにcmがあるかですね					☐
	チェック5	重さ・かさ（体積）の単位を正しく理解していますか？					チェック
解決策	かさと重さは連動しています。こちらも「kは1000倍、mは1/1000倍」が基本ですね					☐	
四谷大塚	4年						
	国語						
学習内容	4回 説明文・論説文（2）/話のつながり② 国語辞典の使い方/三字の熟語・四字の熟語 5回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第1回～第4回） 6回 物語・小説（3）/人の気持ち① 漢字の成り立ち・漢字の音訓/和語②						
家庭学習ポイント	第4回では説明文・論説文を題材に、つながりのことば、要点となることば、指示語、といった重要な読解ポイントを学習します。知識分野では、国語辞典の使い方や三字熟語、四字熟語の知識といった、今後の国語力の向上に大きく関わる分野が置かれています。「説明文・論説文は何に気を付けて読むのか」「これまで学習した物語文の読み方とどのように違うのか」をしっかりと意識し、文種の違いから解答に手間取ることがないようにしていきましょう。予習シリーズは「お子さん本人が予習をする」ということを前提に編集されていますが、解説はお子さんには難しく感じられる可能性があります。春休みまでを「親御さんのサポートがどの程度必要か」と「塾などの担当講師がどこまで対応してくれるか」を見極める時期とされるとよいでしょう。取り扱われる文章の内容も、「学習の意義」「自然と人間」といった、中学入試において典型的かつ頻出のテーマ（そして4年生には理解しやすい抽象度の高いテーマ）ですので、親御さんが内容を把握しておくことも大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	つながりことば（接続語）を正しく選ぶことができますか？					チェック
	解決策	予習シリーズを参考に、「前のことと反対のことを言ってる？」といった声かけから始めましょう					☐
	チェック2	指示語が示す内容を正しく選ぶことができますか？					チェック
	解決策	まずは指示語の後ろを読んでヒントにし、その前を探せばよいことを教えてあげましょう					☐
	チェック3	お持ちの国語辞典は受験学年まで対応していますか？					チェック
	解決策	心もとない場合は、4年生入塾を機に新しい物を準備してもいいですね					☐
	チェック4	文の種類によって「読み方」があることを理解し始めていますか？					チェック
	解決策	「こういう文章は指示語の問題が出るんだね」といった声かけをしてあげてもいいですね					☐
	チェック5	国語の週間学習サイクルができましたか？					チェック
解決策	春休みまで実行してみて、一度振り返りの機会を持ちたいですね					☐	

四谷大塚	4年						
	理科						
学習内容	4回 季節と天気 5回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第1回～第4回） 6回 春の生物						
家庭学習ポイント	4月は地学分野の「季節と天気」、生物分野の「春の生物」についてについて基本事項を学びます。天気については、日常的に見られる現象として起こっていることと、その仕組みについてしっかり理解しておくことで学習効果が高まります。たとえば「夏になると暑い」という経験と「お昼のほうが夕方や朝方よりも暑い」という経験から「太陽の位置が高いほうが暑い＝夏のほうが冬よりも太陽の高さが高い」ということが理解できます。こういう「経験が理屈によって説明される」ということを通して、理科の知識、学力が積み重なっていくのです。また天気予報で「夏日・真夏日・冬日・真冬日」といった言葉を聞いた覚えがあるか、といったことも確認してあげるといいですね。5回は総合回、そしてこの週に組分けテストがあります。この「総合回⇒組分けテスト」も学習サイクルにうまく取り込んでいきましょう。「春の生物」については、春の七草や開花前線、ソメイヨシノの開花（開花したあと葉が出る）など、まさに今、そしてこれから身近に観察、経験できることも多いですね。ぜひ体験学習をうまく取り入れるようにしてみましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	天気にはどのようなものがあるか、お子さんはいくつ知っていますか？					チェック
	解決策	快晴・晴れ・くもり・雨以外に何があるか、親子で出し合ってみてもいいですね					☐
	チェック2	太陽の運行（高さや日照時間）と気温、季節の関連をお子さんはどのくらい説明できますか？					チェック
	解決策	実感としてどれくらい連動して理解しているか、確認してみるといいですね					☐
	チェック3	ソメイヨシノの「花芽」を観察したことがありますか？					チェック
	解決策	すでに葉が散った頃から「次の準備」ができています。花になりそうな芽を枝で探してみましょう					☐
	チェック4	春の七草をすべて言えますか？					チェック
	解決策	ハコベ・ハハコグサ・セリ・ナズナ・カブ・ダイコン・コオニタビラコ ですね					☐
	チェック5	4年生の学習サイクルができてきましたか？					チェック
	解決策	週テスト、公開組分けテストも含め、うまく回るサイクルを考えていきましょう					☐
四谷大塚	4年						
	社会						
学習内容	4回 都道府県と地方（1） 5回 総合（予習シリーズ4年㊤ 第1回～第4回） 6回 都道府県と地方（2）						
家庭学習ポイント	3月は総合回をはさんで第4回、6回「都道府県と地方」を学習していきます。地方別地理の入り口として、まずは日本を俯瞰して学習する2週となります。気候別に日本が8つの地域に分けられること、そしてそれぞれの地方に属する都道府県と、その県庁所在地について学びます。大変ですが、必要なこととしては「白地図上で都道府県名が答えられる（書き込んでいきましょう）」「その都道府県の県庁所在地が答えられる（漢字で書ける）」「都道府県の形がわかる」という状態にすることです。これができたかどうかによって、これ以降の地理の学習効率が大きく変わります。ぜひチャレンジしてください。都道府県の形については、スマホやタブレットのアプリでも学習できますね。もちろん、予習シリーズに示されるそれぞれの地方の特徴を読み、そのイメージを立体的にふくらませることも重要です。人口が多い／少ない都道府県、面積が大きい／小さい都道府県といったランキングも押さえておくことで完璧です。親子共同作業で「地理の得意な子」への準備を進めていってください。						
課題の把握と解決策	チェック1	日本の8つの地方を正しく答えられますか？					チェック
	解決策	北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州沖縄地方ですね					☐
	チェック2	すべての都道府県名を漢字で書けるようになりましたか？					チェック
	解決策	白地図上で位置も答えられるようにしておきましょう					☐
	チェック3	すべての都道府県の県庁所在地を答えられますか？					チェック
	解決策	こちらも漢字で押さえておきたいですね					☐
	チェック4	都道府県の形を見て、言い当てられますか？					チェック
	解決策	アプリなども利用しましょう。海がない、どの県と接しているかななども知っておくと完璧です					☐
	チェック5	4年生の学習サイクルができてきましたか？					チェック
	解決策	週テスト、公開組分けテストも含め、うまく回るサイクルを考えていきましょう					☐